

今ここにある『貧困』の現実

「今ここにある『貧困』の現実」パート1 「若者」を取り巻く現場から考える

- 日 時：2012年11月16日(金) 15:10～18:00
- 場 所：関西学院会館「風の間」

2008年リーマンショック以降日本経済が停滞するなか若年層の「貧困」が社会問題としてクローズアップされてきた。しかしながら、厳しい貧困の現状がメディアを通して多くの人びとに十分に伝えられてきたとはいえない。

センセーショナルな事件などをきっかけに「若者」の貧困に対する注目が一時的に高まることはあっても、ときがたてばすぐに人びとは関心を失ってしまう。さらに、自己責任が声高に叫ばれる風潮のもと「貧困」はともすると「自己責任」として片付けられがちである。こうした「若者と貧困」を取り巻く状況自体を問い直すことを、今回のシンポジウムでは試みる。

【シンポジウム】

- ◆ 問題提起 1. 「若者ホームレス支援ネットワークへ」 佐野章二 『ビッグイシュー日本』 代表
- ◆ 問題提起 2. 「反貧困を軸にした学校づくり」 肥下彰男 大阪府立西成高等学校教諭
- ◆ 問題提起 3. 「ホームレス・生活保護状態からの出口作り～HUBchari から見えてきたもの～」 川口加奈 『Homedoor』 理事長

【パネル展示】

『ビッグイシュー日本』

- ホームレス支援学生団体『Homedoor』の活動紹介

- 日 時：2012年11月12日(月)～16日(金)
- 場 所：関西学院大学図書館エントランスホール

「今ここにある『貧困』の現実」パート2 サンフランシスコにおける貧困・ ホームレス・HIV - 現状とケア体制 -

- 日 時：2012年11月30日(金) 9:00～10:30
- 会 場：関西学院大学図書館ホール
- 通訳あり

Barry D.Zevin 医師を招いての研究会

アメリカ社会において、HIV患者がどのような社会的状況のもとにおかれて、どのような支援やケアが必要とされているのかについて医療的支援実践の専門家の立場からの話を聞く機会を設ける。

さらに、HIVとホームレス問題とがどのように繋がっているのかについて、日本との比較を念頭に置きつつ議論する場を持つ。

関西学院大学主催 秋季人権問題講演会

人口減少、少子高齢化、格差・貧困の拡大など、日本はいま難題に取り囲まれています。どうしたら「誰かに任せろ」のではなく、自分たちの力でそれを改善していけるのか、社会の問題、自分の問題として考えてみたいと思います。

私たちの未来、社会の未来

- ◆ 講師 / 湯浅 誠^{まこと}氏 (反貧困ネットワーク事務局長、NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事)

- 日時・会場：2012年12月20日(木)

午後1時30分～午後3時00分 場所 / 神戸三田キャンパス II号館 201教室

午後4時50分～午後6時20分 場所 / 西宮上ヶ原キャンパス B号館 103号教室